

パブリックコメントの結果について

令和4年1月27日	資料1
令和3年度 第2回食育推進会議	

- 実施期間 令和3年11月25日（木）～令和3年12月24日（金）
- 実施場所（閲覧場所） 佐世保市ホームページ
健康づくり課
本庁舎13階行政閲覧コーナー
各支所、宇久行政センター
※SNS（フェイスブック、ツイッター、ライン）においても、パブリックコメントの実施を広く広報する。
- ご意見の件数 1件
- 「第4次佐世保市食育推進計画（案）」に対するご意見の内容と回答

No.	ご意見	回答
1	5ページ 番号8 食育の推進にかかわるボランティアの数を増やす（充実させる）について 市で開催される食生活改善推進員養成講座を受講し、市民の健康づくりのお手伝いがしたいと日々活動をしているボランティア。 活動することにより、ありがたい言葉と笑顔を頂き、それがやる気や達成感につながり、又、スキルアップを目指して励んできました。 ところがコロナによる活動の自粛を余儀なくされ、地区活動である調理実習も出来なくなりました。 もちろん調理実習だけが活動ではありませんので、できる範囲で食生活改善の担い手として頑張っている現状です。 私があえてここに言葉を残したいと思ったのは、現在私も会員のひとりだからです。そして3月末で辞める決心をしたからです。 以前、会員は300名を超え、楽しく活動が出来ていました。 資料によると令和2年220人、令和8年の目標値が264人となっています。 もちろん会員の養成も大切ですが、今、こんな時だからこそ育成に力を注いで頂きたいと思っています。 コロナになってから、レシピや資料の配布は全くなく、自己学習をするしかありませんでした。	このたびは貴重なご意見をお寄せいただきありがとうございます。 また、食生活改善推進員さんとして、これまで活動を続けていただき心から感謝を申し上げます。 いただいたご意見は、「概要版」に記載の基本目標8「食育の推進にかかわるボランティアの数を増やす」について、養成（＝増やす）も大事だが、育成にも力を注いでほしいとの内容でございました。 食生活改善推進員の育成につきましては、資質向上を目的として、年4回の調理実習と年4回の座学により研修を行っていたところです。 令和2年度、3年度についてはコロナ禍により、感染防止のため従前通りおりましたような調理実習や、密になつての座学研修を行うことができない状況がございました。本市としても感染予防に配慮した研修の実施やレシピの配付を通じ、食生活改善推進員がコロナ禍の中でも実施できる伝達活動として、調理実習以外の方法や、講話や家

例えば冬野菜の白菜は大きいので丸まる１個購入したときの料理方法を伝え、野菜を無駄なく食べるヒントなど、市民の方にお伝えしたい事は山ほどありませんか？ 何も活動がなく、資料さえもらえず落胆して、やる気をなくして辞めていく会員がいることを知り、現会員がもっとやる気を持って食生活改善推進員であることに喜びを感じられるように働きかけていただきたいと思います。 新しい養成も大切ですが、育成にも力を注いで頂けませんか？ 市民の皆さんの為に日々活動して頂きありがとうございます。と感謝の気持ちを持って対応して頂けたら自然に笑顔と健康の輪（和）も広がると信じています。 コロナになったからと何でもコロナのせいにするのでは無く、コロナの時だからこそ出来る働きかけもあると思います。 どうかよろしくお願い致します。 追記 大切なことを言い忘れていましたので申し訳ありませんがよろしくお願いいたします。 佐世保市には全国に先駆けて男性の食生活改善推進員の方もおられます。 その中には、男の食クラブで毎年スピカまつりの時に佐世保汁をつくり市民の皆様に提供するなど、幅広い活動を続けておられます。残念ながらコロナの影響で今は佐世保汁の活動はできない状態かと思いますが、女性会員しか認めて頂けなかった中、男性が認められた歴史があることも是非知って欲しいと思います。 圧倒的に女性会員が多い中、肩身の狭い思いをしなくていいように、どうかご配慮下さい。 食育活動の中では、必ずと言っていい位、ありがとうございますと笑顔が返ってきます。これこそボランティアの幸せを感じるひと時です。 小さな幼児から高齢の方まで沢山の笑顔が溢れる光景は素敵なものです。 佐世保にありがとうの輪が広がる事で食育だけでなく徳育の推進にもつながっていくのだと感じています。 ありがとうが溢れるまち佐世保って素敵ではありませんか	庭訪問を中心とした内容を会員の皆様とともに模索し、活動を続けていただいているところです。 このように、本市としても育成については重要視しており、本計画案（26 ページ）において、基本的施策「4.食育推進運動の強化」の中で取り組みの推進を掲げ、同 29 ページにおいて「食生活改善推進員の知識向上のための研修」に取り組むこととしています。 なお、令和３年１０月に入り、新型コロナウイルス感染症の感染状況が落ち着いてきたことから、１１月、１２月は調理実習を組み込んだ研修を実施することができ、調理実習を望んでおられた会員の皆様にも大変喜んでいただきました。今後も新型コロナウイルス感染症の状況に応じ、会員の皆様の資質向上につながる研修内容や伝達活動の内容を、会員の皆様と一緒に検討し、実施していきたいと考えています。 また、ご意見の追記として、本市が全国に先駆けて養成した「男性ボランティア」のお話がございました。男性会員向けには、年に１回はフォローアップ研修を実施することとしており、日本食生活協会が男性向けに作成したレシピ集を活用した調理実習や、男性のみでの活動内容等についても検討を進めており、活動しやすい環境に配慮していきたいと思います。 ご意見の最後にありますように、ありがとうございますと笑顔の輪が広がるような活動を広げ、今後とも会員の皆様とともに、本市の食育推進を図ってまいります。
---	---